

平成30年度 教育行政評価シート（自己評価）NO. 23

主要事業名	地域資源を生かしたスポーツ交流の推進				作成日	令和元.6.3	
					担当課名	スポーツ推進課	
事業の性質	法定受託 事務	自治事務 (義務)	○	自治事務 (任意)	○	市民サービス	管理経費
						建設事業	その他
事業期間	単年度	年度繰返し		期間限定	年度から		年度まで

1 事業の位置づけ

①第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画における位置づけ				②第三次鹿嶋市総合計画後期基本計画における位置づけ			
重点目標	6	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進		基本目標	1	スポーツでつながるまちづくり	
体系項目	(1)	幅広い年代が楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進		基本政策	1	笑顔あつまるスポーツのまち	
					2	健康で活みなぎるまち	
個別施策	①	スポーツ事業の開催と機会提供		基本施策	1	スポーツ交流の推進	
					1	スポーツ活動の推進	

根拠法令等	スポーツ基本法, 第三次スポーツ推進計画
-------	----------------------

2 事業概要 (Plan)

事務事業の概要・背景	各スポーツ団体等と連携を図り、シンボルスポーツを中心にしたスポーツコンベンション事業を開催するとともに、スポーツ情報の提供や既存大会の規模拡大、大規模な大会の誘致など、多くの市民がスポーツを楽しみ、交流できる機会の拡充を図る。また2019年に開催する第74回国民体育大会をはじめ、2020年東京オリンピックの鹿嶋市開催を契機として、スポーツに対する市民の機運醸成やパラスポーツへの理解、普及を図る。
目的（事業の目指すところ）	①スポーツ大会等の開催 ②「かしまSPORT NAVI」の運用
目的達成のための手順	<ul style="list-style-type: none"> ・シンボルスポーツ大会及び教室等の開催、大規模大会の誘致 ・スポーツ団体に対する支援 ・健康づくり（障がい者）スポーツの開催、支援 ・スポーツ関連情報の提供（ホームページ、SNS）
国・県・他自治体の動向、又は市民、その他の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催決定を契機として、国を始め、国民、団体、企業等の「スポーツ」への関心が高まっている。 ・茨城県では、令和元年茨城国体を契機として、スポーツに対する関心意欲を更に高揚させ、健康・体力の保持増進と競技力向上に取り組まれている。 ・市民からスポーツ環境（施設・事業）の充実についての要望が多い。

3 数値目標と実績 (Do)

数値目標	目標内容	単位	30年度 (実績)	元年度 (予定・見込)	2年度 (予定・見込)	3年度 (予定・見込)	4年度 (予定・見込)
		スポーツ実践者数（施設利用者）	人	352,149	500,000	510,000	515,000
	かしまSPOTR NAVI閲覧者数	件	18,823	19,000	19,200	19,300	19,400

投入コスト	全体計画		30年度 (決算額：千円)	元年度 (予算額：千円)	2年度 (計画額：千円)	3年度 (計画額：千円)	4年度 (計画額：千円)
	事業経費	スポーツホームページ更新		130	132	132	132
ト伝武道（柔道・剣道）大会			900	700	1,000	700	700
サッカーフェスティバル大会			2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
ビーチサッカー大会			2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
駅伝大会			5,452	5,452	5,452	5,452	5,452
スポーツ振興事業補助金			5,350	5,150	5,150	5,150	5,150
健康づくりスポーツ教室			150	150	150	150	150
合計			16,682	16,284	16,584	16,284	16,284
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他(スポーツ振興くじ助成金)		4,885	5,429	5,429	5,429	5,429
従事職員数	一般財源		11,797	10,855	11,155	10,855	10,855
	正規職員（フルタイム勤務者）		5	5	5	5	5
	その他職員（再任用（短）、嘱託職員等）		1	1	1	1	1

3 具体的施策評価 (Check) 主要事業名: 地域資源を生かしたスポーツ交流の推進

「事業実施に直接関連する指標」、「成果に関する指標」、「執行工夫・日常業務改善の取組」は、以下の3段階評価を行う。A: 予定を上回る B: 概ね予定通り C: 予定を大きく下回る

具体的施策名	達成目標 ※指標別に具体的目標(値)を設定		事業実施に直接関連する指標に係る評価 ※何を行ったか	成果に関する指標に係る評価 ※どれだけの成果が上がったか	執行工夫・日常業務改善の取組に係る評価	個別事業実績評価
	事業実施に直接関連する指標	成果に関する指標				
①スポーツ大会等の開催 【比率: 85%】	<ul style="list-style-type: none"> サッカーフェスティバル ビーチサッカー大会 武道大会(剣道・柔道) 駅伝大会 	<ul style="list-style-type: none"> サッカーフェスティバル 100チーム以上の参加 ビーチサッカー40チーム以上の参加 剣道 90チーム以上の参加 柔道 70チーム以上の参加 駅伝大会200以上チーム参加 	<ul style="list-style-type: none"> サッカーフェスティバル年2回開催(実行委員会4回, 監督者会議4回) ト伝杯武道大会(剣道・柔道)年1回開催(実行委員会4回) ビーチサッカー、駅伝大会年1回開催(実行委員会2回) 	<ul style="list-style-type: none"> サッカーフェスティバル 4部門 101チーム参加 剣道 85チーム参加 柔道 38チーム参加 駅伝大会 141チーム参加 ビーチサッカー30チーム参加 多くの参加チームがあり、市外チームとの交流が出来た。	(評価をふまえた改善点) <ul style="list-style-type: none"> 各実行委員会(関係団体等)と連絡を密にするなど連携を強化し、参加チームの募集に努めた。 	個別事業実績評価点: 55.3 [課題] 夏休み期間中の大会開催のため、他事業と重複する可能性が高い。また、武道大会はスポーツセンターでの開催のため毎年、開催日が変動してしまうため参加チームが固定できない。
②「かしまSPORT NAVI」の運用 【比率: 15%】	<ul style="list-style-type: none"> 市内で開催される様々なスポーツ情報の提供 各種スポーツ大会等への参加申し込み 	<ul style="list-style-type: none"> アクセス 10,000件 	<ul style="list-style-type: none"> アクセス数 18,823件 	<ul style="list-style-type: none"> 各種大会結果を掲載したことにより、電話等での問い合わせが減少した。 各種スポーツ大会等の開催のお知らせを掲載することにより、来場者が増加した。 	(評価をふまえた改善点) <ul style="list-style-type: none"> 常に最新の情報の収集に努め、タイムリーな情報の提供を行った。 	個別事業実績評価点: 13.4 年々アクセス数が増えている。さらに、市民や利用者のニーズに即した情報の提供に努めていきたい。

4 総合評価結果に基づく対応 (Action)

総合評価方法	具体的施策別の比率に、事業実施に直接関連する指標(3割)・成果に関する指標(4割)・執行工夫・日常業務改善の取組(3割)の割合及びそれぞれの判定による率(A=1.0, B=0.65, C=0.4)を乗じ、個別事業実績評価点を算出する。その合計点数をA~Cの区分により総合評価とする。			合計点数	68.7	A: 合計点数が80点超 B: 合計点数が50点超80点以下 C: 合計点数が50点以下	総合評価結果	B
実績	社会情勢や財政、他市での取り組みなどを考慮し、事業の取り巻く環境と事業の現状について記入してください。 平成30年度は、アントラースホームタウンDMO等と連携し、海外チームのスポーツ合宿、試合の誘致に成功した。また、ネットボールアジアユース大会を開催する予定であり、今後もいきいき茨城ゆめ国体や2020東京オリンピック開催を契機に、各種スポーツの国際大会の誘致にも積極的に取り組んでいきたい。							
充実、現状維持、見直し、休止・廃止	充実	理由	スポーツは、健康増進、地域コミュニティの形成・活性化などに様々な効果が期待されており、今後もニーズが高いと考えられる。また、東京オリンピック等の決定や茨城国体(鹿嶋市サッカー競技会場)を契機としてスポーツへの関心が高まってきている。					
課題	継続する場合、現状認識を踏まえた課題について記入してください。 2019年茨城国体や2020年東京オリパラの機運を活用したスポーツ事業(障がい者スポーツ)の拡充を図るとともに、スポーツや健康づくりを通じて様々な分野が協力する体制づくりの更なる構築が必要である。							
改善策	課題に対する改善策について、期限や具体的な数値などを記入してください。 鹿行5市で取り組むアントラースホームタウンDMOとの連携によるスポーツの産業化と、市民、地域、スポーツ団体や民間事業者などと行政が連携して「健康・スポーツ健康都市宣言」などの検討を通じて、スポーツによる本市の活性化を図る。							

平成30年度 教育行政評価シート（自己評価）NO. 24

主要事業名	市民スポーツ活動の推進					作成日	令和元.6.3
						担当課名	スポーツ推進課
事業の性質	法定受託 事務	自治事務 (義務)	○	自治事務 (任意)	○	市民サービス	管理経費
						建設事業	その他
事業期間	単年度	年度繰返し		期間限定		年度から	年度まで

1 事業の位置づけ

①第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画における位置づけ				②第三次鹿嶋市総合計画後期基本計画における位置づけ			
重点目標	6	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進		基本目標	1	スポーツでつながるまちづくり	
体系項目	(2)	スポーツ団体の育成支援と指導者の育成		基本政策	1	笑顔あつまるスポーツのまち	
					2	健康で活みなぎるまち	
個別施策	①	スポーツ団体の育成支援		基本施策	1	スポーツ交流の推進	
					1	スポーツ活動の推進	

根拠法令等	スポーツ基本法, 第三次スポーツ推進計画
-------	----------------------

2 事業概要 (Plan)

事務事業の概要・背景	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革に伴い中学校での部活動の外部コーチの必要性の高まりや、少年団スポーツ活動の指導不足が深刻化している。また、指導者不足による各種スポーツ少年団の減少も顕著である。 市民のスポーツ実施率の向上や健康志向の高まりをさらに促進させるために、公民館単位において健康づくり教室を開催し、より多くの人にスポーツに関心をもってもらう。
目的（事業の目指すところ）	<ul style="list-style-type: none"> ①スポーツカレッジ（指導者養成講座）の開催 ②各公民館単位の健康づくり事業及び高齢者対象事業並びに各種イベントの実施 ③大野区域屋内温水プールの管理運営方法の策定
目的達成のための手順	<ul style="list-style-type: none"> かしまスポーツクラブ、スポーツ推進委員連絡協議会と連携し、各種指導者育成事業の開催 スポーツコーディネーター養成講座（スポーツカレッジ）の開催 スポーツコンベンション事業の開催（指導者研修会） エンジョイスportsin鹿嶋の開催（パラスポーツ等の普及活動） 近隣の類似施設等からの聞き取り等を行い、指定管理者の公募を行う
国・県・他自治体の動向、又は市民、その他の意見等	<ul style="list-style-type: none"> 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の開催決定を契機として、国を始め、国民・団体・企業等の「スポーツ」への関心が高まっている。 茨城県では、令和元年茨城国体を契機として、スポーツに対する関心意欲を更に高めるとともに、健康・体力の保持増進と競技力向上に取り組んでいる。 市民からスポーツ環境（施設・事業）の充実についての要望が多い。

3 数値目標と実績 (Do)

数値目標	目標内容	単位	30年度 (実績)	元年度 (予定・見込)	2年度 (予定・見込)	3年度 (予定・見込)	4年度 (予定・見込)
		スポーツ指導者認定者（養成講座受講者）	人	10(160)	15(170)	20(180)	25(190)
	成人スポーツ実施率	%	47	—	49	—	50

投入コスト	全体計画		30年度 (決算額：千円)	元年度 (予算額：千円)	2年度 (計画額：千円)	3年度 (計画額：千円)	4年度 (計画額：千円)
	事業経費	指導者研修会・養成講座		200	200	250	270
エンジョイスportsin鹿嶋			100	100	120	120	120
スポーツ振興事業補助金			5,350	5,150	5,150	5,150	5,150
健康づくりスポーツ教室			150	150	150	150	150
大野区域屋内温水プール備品等購入			18,864				
大野区域屋内温水プール指定管理料				41,000	42,500	43,000	43,500
	合計		24,664	46,600	48,170	48,690	49,220
財源内訳	国県支出金						
	地方債						
	その他(スポーツ振興くじ助成金)						
	一般財源		24,664	46,600	48,170	48,690	49,220
従事職員数	正規職員（フルタイム勤務者）		5	5	5	5	5
	その他職員（再任用（短）、嘱託職員等）		1	1	1	1	1

3 具体的施策評価 (Check) 主要事業名:市民スポーツ活動の推進

「事業実施に直接関連する指標」, 「成果に関する指標」, 「執行工夫・日常業務改善の取組」は、以下の3段階評価を行う。A:予定を上回る B:概ね予定通り C:予定を大きく下回る

具体的施策名	達成目標 ※指標別に具体的目標(値)を設定		事業実施に直接関連する指標に係る評価 ※何を行ったか	成果に関する指標に係る評価 ※どれだけの成果が上がったか	執行工夫・日常業務改善の取組に係る評価	個別事業実績評価
	事業実施に直接関連する指標	成果に関する指標				
①スポーツカレッジ(指導者養成講座)の開催 【比率: 55%】	<ul style="list-style-type: none"> 鹿行地区スポーツレクリエーション大会 かしまスポーツカレッジ スポーツコンベンション 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツレクリエーション200名参加 かしまスポーツカレッジ150人参加(認定者10人) スポーツコンベンション150人参加 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツレクリエーション180人参加 かしまスポーツカレッジ160人参加(認定者16人) スポーツコンベンション指導者研修会(176人参加) <p>評価: A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 市民、指導者の健康意識の高揚につながった。 国体やオリンピック開催により国内外からのお客様へのおもてなしの意識の高揚につながった。 <p>評価: A</p>	(評価をふまえた改善点)指導者が減少、不足する中でいかに関心を持ってもらい、様々なニーズに対応したプログラムを構成し事業を展開する。 評価: B	個別事業実績評価点: 49.2 [課題] 各事業、イベントの周知方法の拡大が必要。
②各公民館単位の健康づくり事業及び高齢者対象事業並びに各種イベントの実施 【比率: 20%】	<ul style="list-style-type: none"> 各地区公民館(10館)での健康づくり事業 エンジョイスポートin鹿嶋 高齢者スポーツの祭典 スポーツチャレンジコーナー運営 地区対抗ソフトバレーボール大会 橋めぐりウォーキング 	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり事業30回開催 エンジョイスポートin鹿嶋300人参加 高齢者の祭典300人参加 スポーツチャレンジコーナー参加500人 地区対抗ソフトバレーボール大会150人参加 橋めぐりウォーキング50人参加 	<ul style="list-style-type: none"> 鹿嶋市健康づくりスポーツ教室(41回, 992人参加) エンジョイスポートin鹿嶋(パラスポーツ普及・実践)「350人参加」 高齢者の祭典325人参加 スポーツチャレンジコーナー1,007人参加 地区対抗ソフトバレーボール198人参加大会 橋めぐりウォーク40人参加 <p>評価: A</p>	<ul style="list-style-type: none"> オリンピック開催に向けて、パラスポーツの認知度の向上、関心が高まった。 市民の健康志向の高まりやニュースポーツへの関心が高く多くのイベントで多くの参加者があった。 <p>評価: A</p>	(評価をふまえた改善点)今後もこれらの事業を展開し、市民の意識の高まりの継続につなげる。 評価: B	個別事業実績評価点: 17.9 [課題] 各事業、イベントの周知方法の拡大。事業展開後の普及、活動の支援の体制構築が必要。
③大野区域屋内温水プールの管理運営方法の策定 【比率: 25%】	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理事業者を公募し、5年間の管理運営を委託 学校プール授業としての利用も予定するため、監視・指導補助業務も可能な事業者を選定。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間利用者を50,000人と見込む。 指定管理料上限4,100万円に設定。 大野区域の5小中学校のプール授業としての利用。5月~11月の間において、1校9時間の授業設定。 指定管理者を公募するにあたり、類似施設等の管理実績があることを条件とした。 施設名称の公募 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理をするにあたり、事業者を公募した。 県内近隣、類似施設の指定管理料等の聞き取りを行い、指定管理料を見込んだ。 <p>評価: A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者として、地元の実績のあるNPO法人に管理運営をお願いすることができた。 施設名称応募114件の中から、名称を決定した。「いきいきゆめプール」 <p>評価: A</p>	(評価をふまえた改善点)指定管理者との連携を図り、行政、事業者、学校との連携の強化を図り、市民、学校がさらに利用しやすい施設を目指す。 評価: B	個別事業実績評価点: 22.4 [課題] 市民向けの健康教室、介護予防教室の開催のさらなる充実。プール利用促進の周知の充実、学校授業利用の連絡調整の徹底を図る。

4 総合評価結果に基づく対応 (Action)

総合評価方法	具体的施策別の比率に、事業実施に直接関連する指標(3割)・成果に関する指標(4割)・執行工夫・日常業務改善の取組(3割)の割合及びそれぞれの判定による率(A=1.0,B=0.65,C=0.4)を乗じ、個別事業実績評価点を算出する。その合計点数をA~Cの区分により総合評価とする。		合計点数	89.5	A:合計点数が80点超 B:合計点数が50点超80点以下 C:合計点数が50点以下	総合評価結果	A
実績	社会情勢や財政、他市での取り組みなどを考慮し、事業の取り巻く環境と事業の現状について記入してください。 ・平成30年度は、国体やオリンピックを視野に入れた健康づくり事業、ニュースポーツ、パラスポーツ普及活動の展開が図れた。 ・温水プールの管理運営については、新規の施設ではあるが近隣類似施設の視察や聞き取りを十分行うことで、指定管理者を公募し選定、指定が出来た。						
充実、現状維持、見直し、休止・廃止	充実	理由	<ul style="list-style-type: none"> 施設を建設した大野区域は特に、高齢者が多い。また近年の健康志向の高まりで水泳や水中ウォーキングの愛好者が多くなっているが、既存の屋内温水プールは車で20分以上と遠距離である。高齢者が多い区域に温水プールを新設したために、市民の関心は高く様々な健康カリキュラムを考え、市民の健康増進、医療費の抑制に繋げるため様々な取り組みを充実させたい。 国体の開催やオリンピックの開催を控え、パラスポーツの普及にさらに努めていきたい。 				
課題	継続する場合、現状認識を踏まえた課題について記入してください。 ・プールでの健康増進のための市民のニーズを的確に把握し、プログラムを立てて行くことが重要。						
改善策	課題に対する改善策について、期限や具体的な数値などを記入してください。 ・施設利用者からの聞き取り、高齢者等が多く集まるスポーツイベント等での聞き取りを行いニーズの把握に努める。						

平成30年度 教育行政評価シート（自己評価）NO. 25

主要事業名	いきいき茨城ゆめ国体の開催準備とリハーサル大会の開催					作成日	令和元.6.3
						担当課名	スポーツ推進課
事業の性質	法定受託事務	自治事務(義務)	○	自治事務(任意)	市民サービス	管理経費	
					建設事業	その他	
事業期間	単年度	開催推進計	○	期間限定	平成29年度から	令和元年度まで	

1 事業の位置づけ

①第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画における位置づけ				②第三次鹿嶋市総合計画後期基本計画における位置づけ			
基本方針	6	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進		基本目標	1	スポーツでつながるまちづくり	
体系項目	(1)	幅広い年代が楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進		基本政策	1	笑顔あつまるスポーツのまち	
個別施策	①	スポーツ事業の開催と機会提供		基本施策	1	スポーツ交流の推進	
根拠法令等	スポーツ基本法						

2 事業概要 (Plan)

事務事業の概要・背景	2019年に茨城県で開催する第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」において、鹿嶋市ではサッカー競技（成年男子・少年男子）を実施するにあたり、その開催準備を進める。また、今年度は、サッカー競技リハーサル大会である第54回全国社会人サッカー選手権大会の準備・開催をしていく。
目的（事業の目指すところ）	第74回国民体育大会におけるサッカー競技の開催成功と、国体開催を通じたスポーツに対する市民の機運醸成を図ることを目的とする。
目的達成のための手順	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー競技リハーサル大会（第54回全国社会人サッカー選手権大会）の準備・開催 ・第74回国民体育大会サッカー競技の開催 ・専門委員会会議を開催し、国体開催に向けた各種計画・要項などの策定について、委員である関係団体や関係者と協議を図っていく。 ・記念イベントの開催や各地域イベントでのPRを行い、機運醸成を図っていく。
国・県・他自治体の動向、又は市民、その他の意見等	茨城県において開催するものであり、県内全市町村において競技を実施し、全県的なスポーツを活用した盛り上がりを図っている。

3 数値目標と実績 (Do)

数値目標	目標内容	単位	平成30年度 (実績)	令和元年度 (予定・見込)	2年度 (予定・見込)	3年度 (予定・見込)	4年度 (予定・見込)
		PR活動実施	回	22	10		

		全体計画	平成30年度 (決算額：千円)	令和元年度 (予算額：千円)	2年度 (計画額：千円)	3年度 (計画額：千円)	4年度 (計画額：千円)
投入コスト	事業経費	第74回国民体育大会鹿嶋市実行委員会負担金	60,829	135,000	0	0	0
		内訳（総務費）	2,723	8,963			
		（競技会場運営経費）	17,366	66,220			
		（会場設営費）	39,885	56,484			
		（歓迎接伴費）	855	3,333			
	合計	60,829	135,000	0	0	0	
財源内訳	一般財源	国県支出金	21,129	83,700			
		地方債					
		その他(参加者負担金)					
		合計	39,700	51,300	0	0	0
従事職員数	正規職員（フルタイム勤務者）		5	5			
		その他職員（再任用（短）、嘱託職員等）	1	1			

3 具体的施策評価 (Check) **主要事業名:いきいき茨城ゆめ国体の開催準備とリハーサル大会の開催**

「事業実施に直接関連する指標」、「成果に関する指標」、「執行工夫・日常業務改善の取組」は、以下の3段階評価を行う。A:予定を上回る B:概ね予定通り C:予定を大きく下回る

具体的施策名	達成目標 ※指標別に具体的目標(値)を設定		事業実施に直接関連する指標 ※何をを行ったか	成果に関する指標に係る評価 ※どれだけの成果が上がったか	執行工夫・日常業務改善 の取組に係る評価	個別事業実績評価
	事業実施に直接関連する指標	成果に関する指標				
①国体及びリハーサル大会に関する計画・実施要項作成及びリハーサル大会開催 【比率: 50%】	開催推進計画や年次計画に基づき、必要な計画等を策定し、国体開催に向けたリハーサル大会を開催する。また、競技団体と連携し、スムーズな競技会運営を行う。	計画・実施計画等の策定及びリハーサル大会開催 競技団体と競技会運営にかかる協議	総務・企画専門委員会開催(5/23) 競技・施設専門委員会開催(5/23) 宿泊・交通・衛生・警備専門委員会開催(5/24) 開催推進計画に沿って、上記専門委員会を開催し、19の計画・要項を策定。 カシマキッズダンス応援隊による市内イベント等でのPR活動実施 市内小中学校との連携プロジェクトチームによる連携事業の実施。	各専門委員会による協議を経て、策定した計画・実施要項等を基に、リハーサル大会を無事開催することができ、国体開催へ向けた課題を見つけることができた。 カシマキッズダンス応援隊による市内イベント等でPRを実施できた。 国体を活用した小中学校と連携した事業を実施し、子どもたちから国体へ向けた機運醸成を図ることができた。また、リハーサル大会では中学生によるおもてなしを実施することができた。	(評価をふまえた改善点)先催県を模倣するのではなく、小中学校との連携プロジェクトチームなどを通じて鹿嶋らしさを持った事業展開を図ることができた。また、競技団体と十分な連携をもって、サッカー競技リハーサル大会を開催することができた。	個別事業実績評価点: 44.8 [課題] リハーサル大会開催結果に基づく運営体制の見直し。 国体開催へ向けた小中学校との連携事業の再協議。 競技団体と連携した競技会運営の見直し。
②国体及びリハーサル大会開催に向けた競技会場設営 【比率: 50%】	国体施設ガイドラインに基づいた競技会場設営を行う。	ガイドラインに適合した競技会場設営。	競技・施設専門委員会及び競技運営団体との協議を随時実施	競技運営団体と協議を行い、運営サイドの意見を伺い、競技会場設営に役立てることができた。	(評価をふまえた改善点)必要最低限の仮施設設での会場設営をすることができた。	個別事業実績評価点: 32.5 [課題] 国体開催に向け、リハーサル大会開催結果に基づいた観覧席等の新たな仮施設設の設置に関する調整

4 総合評価結果に基づく対応 (Action)

総合評価方法	具体的施策別の比率に、事業実施に直接関連する指標(3割)・成果に関する指標(4割)・執行工夫・日常業務改善の取組(3割)の割合及びそれぞれの判定による率(A=1.0,B=0.65,C=0.4)を乗じ、個別事業実績評価点を算出する。その合計点数をA~Cの区分により総合評価とする。	合計点数	77.3	A:合計点数が80点超 B:合計点数が50点超80点以下 C:合計点数が50点以下	総合評価結果	B
実績	社会情勢や財政、他市での取り組みなどを考慮し、事業の取り巻く環境と事業の現状について記入してください。 3つの専門委員会により必要に応じて協議を行いながら、茨城国体及びリハーサル大会開催に向けて必要な計画等の策定を行った。また、国体のリハーサル大会を開催し、茨城国体へ向けた課題等を抽出した。 市内小中学校と連携プロジェクトチームにより、国体を活用した事業について協議を行い、事業を実施した。					
充実、現状維持、見直し、休止・廃止	充実	理由	令和元年の茨城国体開催においては、リハーサル大会以上の仮設対応が必要となる。また、市内小中学校との連携事業の推進などおもてなしに向けた活動を推進していく必要がある。			
課題	継続する場合、現状認識を踏まえた課題について記入してください。 ・茨城国体開催に向けた仮施設設などの精査及び県運営交付金の確保とその運用。 ・リハーサル大会開催結果に基づいた茨城国体開催でのおもてなしなどの実施に向けた調整、及び競技会運営にかかる体制の見直し。 ・行幸啓もしくはお成りにおける茨城県警や茨城県担当課との十分な調整と受入体制の構築。					
改善策	課題に対する改善策について、期限や具体的な数値などを記入してください。 専門委員会において関係団体等と調整していくとともに小中学校との連携プロジェクトチームにおいても協議をしていく。また運営体制については、リハーサル大会開催結果を十分検証し、庁内推進委員会等に協議を図っていく。					

平成30年度 教育行政評価シート（自己評価）NO. 26

主要事業名	いきいき茨城ゆめ国体の推進					作成日	令和元.5.22
						担当課名	教育総務課
事業の性質	法定受託 事務	自治事務 (義務)	自治事務 (任意)	市民サービス	建設事業	管理経費	その他
事業期間	単年度	年度繰返し	〇	期間限定	平成28年度から	令和元年度まで	

1 事業の位置づけ

①第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画における位置づけ				②第三次鹿嶋市総合計画後期基本計画における位置づけ			
基本方針	6	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進		基本目標	1	スポーツでつながるまちづくり	
体系項目	(3)	スポーツ環境の整備・充実		基本政策	2	健康で活みなぎるまち	
個別施策	①	広域的な大会に対応できる施設整備		基本施策	1	スポーツ活動の推進	

根拠法令等	スポーツ基本法
-------	---------

2 事業概要 (Plan)

事務事業の概要・背景	平成31年度に茨城県で開催される国内最大のスポーツの祭典である国民体育大会において、本市はサッカー競技（成年男子，少年男子）の開催地となっており，国民体育大会サッカー競技施設ガイドラインに基づき，競技会場となる北海浜多目的球技場，ト伝の郷多目的球技場，高松緑地多目的球技場を整備するもの。併せて，施設の利便性を高めるため付帯施設の整備，改修等を行う必要がある。
------------	--

目的（事業の目指すところ）	日本サッカー協会規定に基づく，サッカーグラウンド及び付帯施設（フェンス，観覧席，クラブハウス，トイレ等）を整備，改修をする。 ①北海浜多目的球技場（天然芝）②ト伝の郷多目的球技場（人工芝）③高松緑地多目的球技場（人工芝）
---------------	---

目的達成のための手順	<ul style="list-style-type: none"> 高松緑地多目的球技場人工芝新設工事及びクラブハウス整備工事を行うため関係課との協議，調整 工事監理業務委託及び工事の発注。 工事の工程管理及び施工管理。 付帯施設（防球ネット，観覧席，フェンス，トイレ等）の改修及び整備
------------	--

国・県・他自治体の動向，又は市民，その他の意見等	茨城県では国体による地方スポーツの普及・振興と地方文化の発展を目指して，県民総参加の国体開催を推進しており，県内の自治体は，平成31年第74回国民体育大会の開催に向けて施設整備等の準備を進めている。
--------------------------	---

3 数値目標と実績 (Do)

数値目標	目標内容	単位	平成30年度 (実績)	令和元年度 (予定・見込)	2年度 (予定・見込)	3年度 (予定・見込)	4年度 (予定・見込)
		国民体育大会施設の改修	箇所	1	1	—	—
	屋外トイレの洋式化数（新設・改修）	基	12	—	—	—	—

投入コスト	全体計画		平成30年度 (決算額：千円)	令和元年度 (予算額：千円)	2年度 (計画額：千円)	3年度 (計画額：千円)	4年度 (計画額：千円)
	事業経費	役務費（確認申請，完了検査手数料）	50	0	0	0	0
	委託料（工事監理委託料）	12,227	0	0	0	0	0
	工事請負費	215,106	6,480	0	0	0	0
	合計	227,383	6,480	0	0	0	0
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	101,800	0	0	0	0	0
	その他(toto基金)	83,693	0	0	0	0	0
	一般財源	41,890	6,480	0	0	0	0
従事職員数	正規職員（フルタイム勤務者）	1	0.5				
	その他職員（再任用（短），嘱託職員等）	0.5	0.5				

3 具体的施策評価 (Check) 主要事業名:いきいき茨城ゆめ国体の推進

「事業実施に直接関連する指標」、「成果に関する指標」、「執行工夫・日常業務改善の取組」は、以下の3段階評価を行う。A:予定を上回る B:概ね予定通り C:予定を大きく下回る

具体的施策名	達成目標 ※指標別に具体的目標(値)を設定		事業実施に直接関連する指標に係る評価 ※何を行ったか	成果に関する指標に係る評価 ※どれだけの成果が上がったか	執行工夫・日常業務改善の取組に係る評価	個別事業実績評価
	事業実施に直接関連する指標	成果に関する指標				
①高松緑地多目的球技場の人工芝グラウンド及びスタンド整備 【比率: 50%】	入札準備 改修内容の検討, 協議 施工状況の監督(工程, 工法, 関係法令, 基準の遵守) 検査立会い(中間・完了) JFA公認	日本サッカー協会公認の人工芝グラウンドの整備(人工芝敷設工事A=9,384㎡, 芝生工事A=1,240㎡), 試合観戦用観覧席の設置(120席×2箇所), 防球ネット(H=7m L=96m), ネットフェンス(H=1.2H=0.9 L=96m)等	工事の監督(工程会議29回, 中間検査4回実施), 施工状況確認立会いの実施 JFA公認取得	設計図書に基づいた工事管理。 追加工事の対応や設計外の改修工事等, 現場での調整。 無事故で工期内の完成。	(評価をふまえた改善点) 大きな改善点は無い。施工者と綿密な工程会議を実施することで細部に渡り調整することができた。	個別事業実績評価点: 50.0 [課題] 進捗状況を随時管理し, 施工者と密に連携を取りながら工事を進めることができた。当初の計画どおりに完了することができた。
②高松緑地多目的球技場のクラブハウス整備 【比率: 35%】	入札準備 改修内容の検討, 協議 施工状況の監督(工程, 工法, 関係法令, 基準の遵守) 検査立会い(中間・完了)	高松緑地多目的球技場内の運動施設を管理するクラブハウスの整備建築面積224.17㎡ 延床面積192.21㎡ 鉄骨造, 平屋建て	工事の監督(工程会議18回, 中間検査4回実施), 施工状況確認立会いの実施	設計図書に基づいた工事管理。 追加工事の対応や設計内容の変更, 機器の選定等, 現場での調整。 無事故で工期内の完成。	(評価をふまえた改善点) オリンピックの関係で, 鉄骨材及び高力ボルト等の材料が全国的に不足し工程が遅れることがあった。情勢を見越した工期の設定が必要である。	個別事業実績評価点: 26.4 [課題] 施工状況を確認し, 基準に適合した工事が行われているか確認する必要がある。工期内に完成したが, 慌ただしい工程となる場面があったので工程管理をしっかりと行う必要がある。
③ト伝の郷運動公園多目的球技場の管理棟修繕及びトイレ洋式化 【比率: 15%】	国体で使用する施設の付帯施設である管理棟の改修及び屋外トイレの和便器の洋式化を行う。	ト伝の郷多目的球技場 ・管理棟内外装改修 ・改修和便器数 7基 高松緑地多目的球技場 ・新設洋便器数 5基	ト伝の郷多目的球技場管理棟改修工事(外壁塗装, 内壁塗装, プラインド改修) ト伝の郷屋外トイレ洋式化工事 (7基) 高松緑地屋外トイレ新設 (5基)	スポーツ推進課と調整を行い, 改修箇所の確認, 改修時期の調整を実施。 予定通りの改修ができた。	(評価をふまえた改善点) 多くの利用者がいるため, 施工期間の調整を綿密に行い改修することができたため, 苦情等はなく改修をすることができた。	個別事業実績評価点: 13.4 [課題] 施設の利用頻度を確認し必要に応じた改修を行う必要がある。スポーツ推進課と調整し優先順位の高い順に改修を行うことができた。

4 総合評価結果に基づく対応 (Action)

総合評価方法	具体的施策別の比率に、事業実施に直接関連する指標(3割)・成果に関する指標(4割)・執行工夫・日常業務改善の取組(3割)の割合及びそれぞれの判定による率(A=1.0,B=0.65,C=0.4)を乗じ、個別事業実績評価点を算出する。その合計点数をA~Cの区分により総合評価とする。	合計点数	89.8	A:合計点数が80点超 B:合計点数が50点超80点以下 C:合計点数が50点以下	総合評価結果	A
実績	社会情勢や財政、他市での取り組みなどを考慮し、事業の取り巻く環境と事業の現状について記入してください。 厳しい財政の中で、国、県、サッカーくじ助成等の補助金や交付金を活用し施設整備を行っている。限られた予算を最大限に有効活用し、国体施設を整備することはもちろんのこと、国民体育大会が終わった後も多くの市民が利用できるように配慮して施設整備を行っている。トイレの改修については、利用者からも洋式化を望む声が多く出ており、ウォシュレット付洋式便座が主流となっているため、洋式便座の整備、改修を進めるとともに管理が十分にできる施設(北海浜多目的球技場、高松緑地公園多目的球技場クラブハウス、ト伝の郷多目的球技場管理棟)についてはウォシュレットを整備した。					
充実、現状維持、見直し、休止・廃止	見直し	理由	平成31年度に国民体育大会が開催され、これまで行ってきた国体のための施設整備及び改修は必要なくなるため。			
課題	継続する場合、現状認識を踏まえた課題について記入してください。 関連施設については、大規模な施設整備工事及び改修工事を行ってきたが、細部の修繕等ができていない箇所が見受けられるため、関係課と調整し、より施設の機能が充実するように対応をしていく。利用者の動線を考慮し、必要に応じて施設の維持補修を行う。(段差の解消、サイン等)					
改善策	課題に対する改善策について、期限や具体的な数値などを記入してください。 国体が終了しても、今回整備した施設は広く市民に使われる体育施設であることから、一定の維持補修は必要である。スポーツ推進課及び施設管理課と調整しながら、中長期的に活用できるように適切な維持補修工事を行っていく。					